

◆キックオフイベント兼第一回勉強会(オンライン)開催概要

- ・日時:6月23日 10:30~12:00
 - ・申し込み:旅と学び協議会 WEB サイト(<https://ana-conference.com>)よりお申し込みください。
 - ・実施内容
- 【第一部:旅と学びの協議会 概要紹介(オンライン)】
設立趣旨説明:5分 <ANAHD 事務局>
代表理事挨拶:5分 <出口氏>
ショートプレゼン:5分 <小宮山氏> ※学術的に取り組む意義

- 【第二部:旅と学びの協議会 第一回勉強会(オンライン)】
基調講演:30分 <出口氏> (テーマ:人生における「人」×「本」×「旅」の必要性について)
パネルディスカッション:30分 <モデレーター:小宮山氏/パネリスト:出口氏・前野氏・鮫島氏>
閉会の挨拶:5分 <ANAHD 事務局>

◆「旅と学び協議会」設立背景

【これまでの歴史のダイナミズムの中で旅と学びと幸せの位置付けを考える】

我々人類はどこへ行くのか?ホモサピエンスの歴史を振り返ってみると、人類はホモ・モビリティスと言われるように、住みやすい土地や環境、資源を求めて、移動して生きてきた動物です。

定住生活が当たり前となった最近1万年の歴史は人類の歴史で見るとわずか 20 分の 1 に過ぎません。

これまでの歴史のダイナミズムの中で旅の位置付けを考えてみると、現在我々が当たり前と感じている、安心安全な環境(コンフォートゾーン)に安住し、時々旅をしてリフレッシュするという生活スタイルは、これからの当たり前ではなくなるかもしれません。今回のコロナ禍を通じて、オンライン通話がどこでも出来るようになり、会議や授業などどこにいても誰とでも繋がれる環境が整備されつつあります。

これが当たり前になれば、今までの「定住」前提の世の中は崩れ、自由に働きたい場所を選べる「移住」前提の世の中へと変化する可能性すらあります。それに伴い、社会制度自体の見直しも進み、我々の当たりの概念そのものが急激に変化していきます。

また、学びや幸せの位置付けも大きく変化するでしょう。例えば、従来の修学旅行のように京都や奈良などの観光地を集団で楽しむ形から、アウシュヴィッツや NASA、ガラパゴスなどの本物に触れる旅へと変化していき、学校という形さえもなくなるかもしれません。

昨今のテクノロジーの進歩により、大抵の情報はインターネットや書籍などで手に入ります。教科学習もオンライン学習を活用すればいつでも手軽に学習が可能です。

その一方で、自分の住処を違う空間に置くことによって、新たな学びを得ることができる。五感を通じた体験は好奇心を刺激します。インターネットでは得られない立体的な生きた情報を得ることができます。

潮の満ち引きが太陽と月の位置関係によって決まるように、太陽のコンフォートゾーンと月のコンフォートゾーンが出会うときに「ある力」が生じます。文明史的に考えると「旅とは重力圏を出ること」であり、異文化と異文化が交わり合うことで新しい秩序が生まれる。我々ホモサピエンスは、移動をしながら進化を続けてきたのです。

【メッセージ】

今まさに人類の歴史の中で大きなパラダイムシフトが起ころうとしている、価値の転換期に我々は直面しています。これまでの歴史の中で大きな変革が起きたタイミングでは、異質なものと異質なもの同士がぶつかり合い、既存の枠組みが壊れ再形成されることで新しい世界が生まれてきました。

今だからこそ、コンフォートなゾーンに安住するのではなく、今日現在常識とみなされているものをすべて疑い、これぞ人類の本質ともいえる「移動」を軸として、ニューノーマルなアフターコロナの世界についてみんなで考えてみませんか。